

第134回春期大会開催のご案内

第134回春期大会は、熊本大学黒髪南キャンパスにおいて下記の日程で開催致します。

会 期	(1) 研究発表講演会	平成30年5月26日(土), 27日(日)
	(2) ポスターセッション	平成30年5月26日(土)
	(3) 表 彰 式	平成30年5月26日(土)
	(4) 市民フォーラム	平成30年5月26日(土)
	(5) 懇 親 会	平成30年5月26日(土)
	(6) 見 学 会	平成30年5月25日(金)
	(7) 機器・カタログ展示	平成30年5月26日(土), 27日(日)
	(8) 企業・学生交流会	平成30年5月26日(土), 27日(日)

大会会場 熊本大学 黒髪南キャンパス (〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1)

・JR熊本駅からバス約30分

懇親会会場 ホテル メルパルク熊本 (熊本市中央区水道町14-1 Tel:096-355-6311 <https://www.mielparque.jp/kumamoto/>)

・熊本市電・水道町電停から徒歩3分

第134回春期大会講演募集

講演申込締切 平成30年1月16日(火) 23:59までにWeb申込

概要集原稿締切 平成30年3月14日(水) 13:00事務局必着

発表資格：発表者は本学会会員に限ります。非会員の方は、入会手続きをお願いします。

講演内容：講演は原則として未発表のもので論文としてまとめたもの。

講演形式：口頭発表（一般セッション、テーマセッション）、またはポスター発表（ポスターセッション）

概要原稿：第133回大会より海外からの参加者にも発表内容が伝わるよう、英文ABSTRACT（100 words）追加、図表および図表のキャプションは英文表記とすることとしました。詳細は「概要原稿の書き方」（表記について「軽金属」執筆要領準用を追加）を参照ください。

発表方法：(1) 口頭発表の講演時間は、原則として、発表15分、討論5分です。

(2) ポスター発表の在席時間は1時間30分で、ポスターは翌日12:00まで展示します。

(3) 口頭発表について、プロジェクタ（RGB端子接続）のみ用意します（PCは持参、HDMI接続の場合は変換アダプタをお持ちください）。

(4) 英語での発表も可能です。

申込方法：軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>からお申込ください。

(1) インターネットサービスに新規登録する

(2) 「講演大会・国際会議」―「講演大会」―「募集中の大会」をクリック

(3) 「講演申込」画面の内容に従い、講演申込を行う

※ 講演発表に伴い入会される方は、12月中に入会申込書とともに本年度分会費を送付ください。

送付の際は、現金書留にて、入会申込書とともに本年度分会費を同封のうえ、「講演申込のために会員番号の事前連絡を希望」とのメモを必ず添付してください。

※ 講演申込に当たって、講演形式を、口頭発表／ポスター発表／どちらでもよい／テーマセッションから選択ください。口頭発表またはどちらでもよいを選択した場合は、続いて講演分類を選択ください。

※ 第127回より講演分類と選択方法を変更しました。大分類（対象材料）および5つの小分類（用途、現象、検出・解析方法、目的、材料形状）からそれぞれ該当するものを選択ください。従来と異なる切り口でのプログラム編成を考えています。

振込方法：講演申込費：2,000円（消費税込） テーマセッション、ポスターセッションも同じです。

郵便振替口座番号：00100-3-66805（加入者名：一般社団法人軽金属学会）

※ 講演申込と同時に郵便振替または現金書留でご送金ください。

※ 講演申込費は講演申込事務にかかる費用です。講演発表者をはじめ、大会に参加する方は、別途、大会参加登録が必要です（大会参加費は予約申込の場合、正会員6,000円、学生会員3,000円です。詳細は (iv) ページをご覧ください）。

※ 事務局での入金確認のため、参加者ご本人以外、例えば、大学、企業等から講演申込費を銀行振込みされる場合は、必ず、①申込者名および申込受付No.、②振込日、③振込金額をFax: 03-3538-0226またはE-mail: shomu@jilm.or.jpにご連絡ください。ご協力を宜しくお願い申し上げます。

問 合 先：一般社団法人軽金属学会 事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル6階

Tel: 03-3538-0232 Fax: 03-3538-0226 E-mail: shomu@jilm.or.jp

第134回春期大会ポスター発表募集

軽金属学会講演大会のポスターセッションを充実させています。
—学界、業界を問わず奮ってご応募ください—

- *懇親会にて優秀ポスター発表賞を軽金属学会会長名で表彰
- *軽金属奨学会から副賞贈呈
- *表彰者を学会誌「軽金属」および「学会ホームページ」に写真入りで紹介
- *学界、業界を問わず、35歳以下の正会員からのポスター発表も表彰の対象
- *ポスター発表時間：1時間30分 十分なディスカッションが可能

実施方法

- (1) 対象者：正会員、学生会員の希望者。ただし、同一発表者による複数のポスター発表はできません。
- (2) 概要集に掲載しますので、講演発表者と同様、概要原稿を提出してください。
第133回大会より、概要原稿には英文ABSTRACT（100 words）追加、図表および図表のキャプションは英文表記を採用することとしました。詳細は「概要原稿の書き方」（表記について「軽金属」執筆要領準用を追加）を参照ください。
- (3) 幅900mm×高さ2100mmのパネル1枚を予定しています。ポスターサイズはA0版（幅841mm×高さ1189mm）までとします。
パネルの前に机は置けません。
- (4) ポスター作成に当たっては、表題には必ず英文表題を並記し、図表および図表のキャプションは英文表記とします。
- (5) 在席時間は1時間30分とします。ポスターは9:30から12:00までに掲示を済ませ、翌日12:00まで展示します。15:00以降に残っているポスターは撤去します。
- (6) 5月26日の懇親会にて優秀ポスター発表賞受賞者を表彰します。

第134回春期大会テーマセッション講演募集

第134回春期大会では、下記のテーマでテーマセッションを企画しました。テーマセッションは、キーノート講演と一般講演で構成され、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供することを目的としています。奮ってご応募ください。

テーマ1：「ミルフィーユ構造の材料科学（I）」

趣 旨：LPSO型マグネシウム合金の強化相であるLPSO相の特徴は、硬質層と軟質層が周期的に積層した構造を持ち、キンク変形により強化されることである。最近、硬質層と軟質層の積層が周期性を持たなくても、キンク変形により強化されることが明らかにされた。このような層状構造をパイ生地層とクリーム層が積層したミルフィーユ洋菓子に例えて、「ミルフィーユ構造」と定義した。ミルフィーユ構造は、マグネシウム合金のみならずチタン合金などにおいても形成される可能性が高く、材料科学にブレイクスルーをもたらすことができると考えられる。本テーマセッションでは、シンクロ型LPSO構造を含めたミルフィーユ構造に関する講演を募集し、ミルフィーユ構造の構造制御と格子回転制御による高強度・高延性構造材料の創製の可能性について議論を深めることによって、ミルフィーユ構造の材料科学の発展を促したい。

世話人：河村能人（熊本大学）、中谷彰宏（大阪大学）、阿部英司（東京大学）、相澤一也（JAEA）、中島英治（九州大学）、榎学（東京大学）、奥田浩司（京都大学）、三浦誠司（北海道大学）、山崎倫昭（熊本大学）、萩原幸司（大阪大学）、東田賢二（佐世保工業高等専門学校）

テーマ2：「水素と力学特性」

趣 旨：自動車、鉄道、航空機等の輸送機器、土木建築関係の構造物等の軽金属化、高強度化、長期信頼性の確保にとって、テーマセッションでは、アルミニウムを中心とする軽金属の水素トラップと水素が力学的特性に及ぼす影響に焦点を絞ります。具体的には、材料中に過飽和に固溶する原子状水素の存在状態、原子状水素とそれが分子状水素として析出したポアやブリスターなどのマイクロ欠陥の生成、成長および消滅、およびそれらが材料の水素脆化や応力腐食割れなどの力学的性質に及ぼす影響等です。これをもとに、水素や水素に関連するマイクロ欠陥を除去、ないしは制御することによる力学的特性改善法の可能性を議論することが求められています。そこで、様々な学術分野間、産官学の交流、実験と計算、材料科学と機械工学の融合等による軽金属の水素脆化研究の活性化を目指す趣旨に賛同される方の各種講演応募募集を期待します。

世話人：戸田裕之（九州大学）、山田浩之（防衛大学校）、則包一成（株式会社UACJ）